



2026年8月15日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

10,057万kW

12時30分、100,568 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,326万kW

12時、43,264 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

133万kW

21時、1,328 MW

◇ 再エネ最大需要比

53.9%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

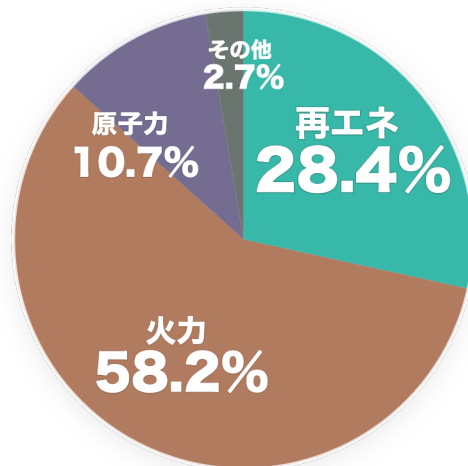
東京

123 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

116 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 51.2%

39.8 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

70.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に3,195万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで51.2%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	28.4%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	608 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,137 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	53.9%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	70.2 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	51.2%	39.8	0.0	送電 4.7
東北	35.0%	107	0.0	送電 116
東京	20.4%	118	0.0	受電 123
中部	39.3%	89.5	0.0	受電 61.8
北陸	44.0%	25.3	0.0	受電 3.9
関西	19.5%	62.7	0.0	受電 43.2
中国	28.6%	50.1	0.0	送電 26.8
四国	26.9%	27.7	0.0	送電 40.2
九州	32.2%	84.5	0.0	送電 23.6
沖縄	10.8%	3.2	0.0	—



2026年8月15日の供給実績

北海道エリア

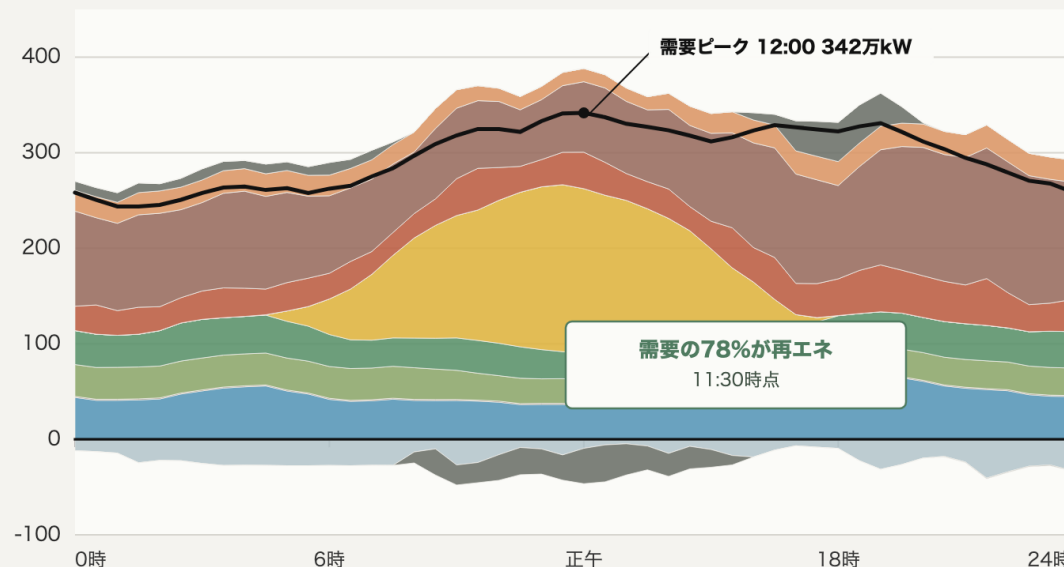
再エネ

39.8GWh

(発電電力量ベース51.2%)

北海道エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）

万kW



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

77.7GWh

需要ピーク

12:00、342万kW

連系線・その他

4.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク175万kW、風力ピーク40万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.4%だった。



2026年8月15日の供給実績

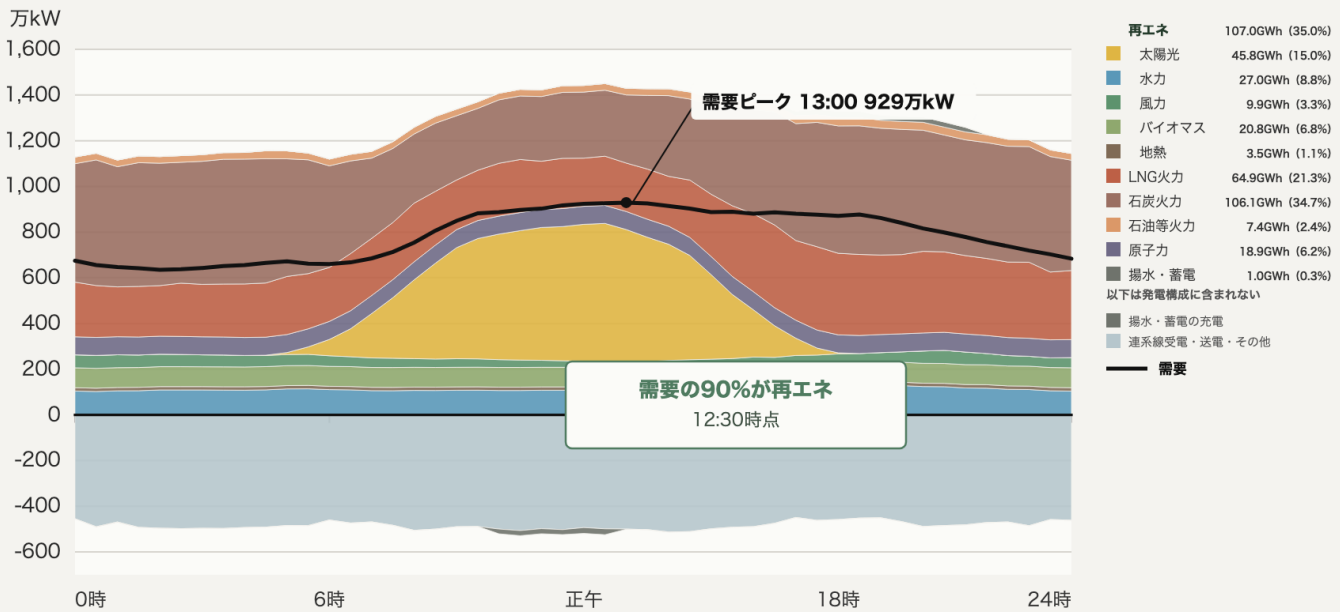
東北エリア

再エネ

107.0GWh

(発電電力量ベース35.0%)

東北エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

305.4GWh

需要ピーク

13:00、929万kW

連系線・その他

116.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク603万kW、風力ピーク57万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.9%だった。



2026年8月15日の供給実績

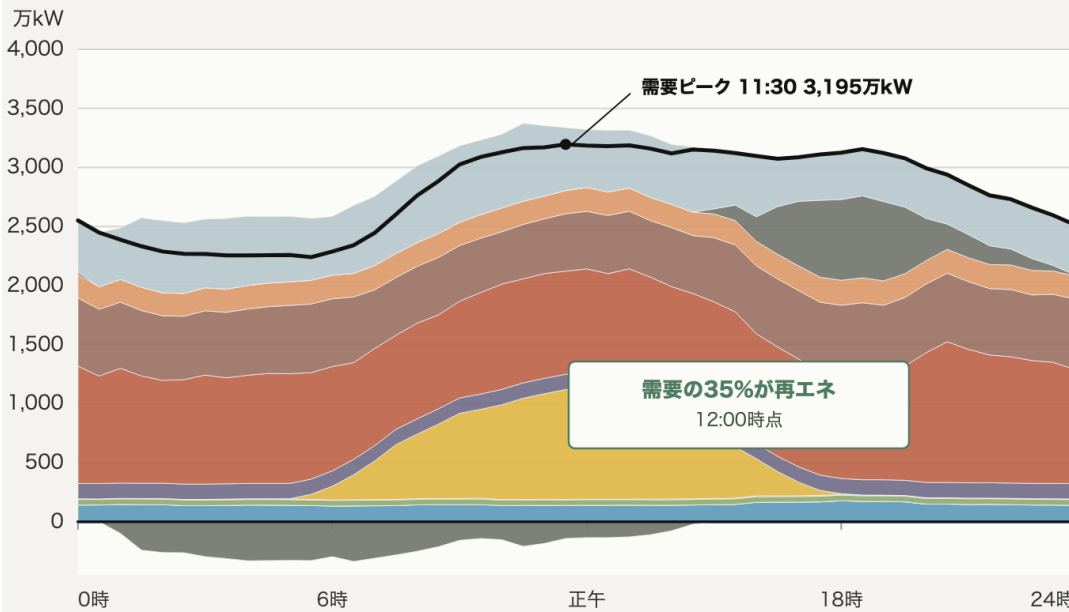
東京エリア

再エネ

118.1GWh

(発電電力量ベース20.4%)

東京エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 578GWh
(5,780万kWh)

再エネ	118.1GWh (20.4%)
太陽光	70.5GWh (12.2%)
水力	34.9GWh (6.0%)
風力	1.3GWh (0.2%)
バイオマス	11.4GWh (2.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	222.1GWh (38.4%)
石炭火力	129.4GWh (22.4%)
石油等火力	48.1GWh (8.3%)
原子力	31.0GWh (5.4%)
揚水・蓄電	29.2GWh (5.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

578.0GWh

需要ピーク

11:30、3,195kW

連系線・その他

122.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

30.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク939万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.5%だった。



2026年8月15日の供給実績

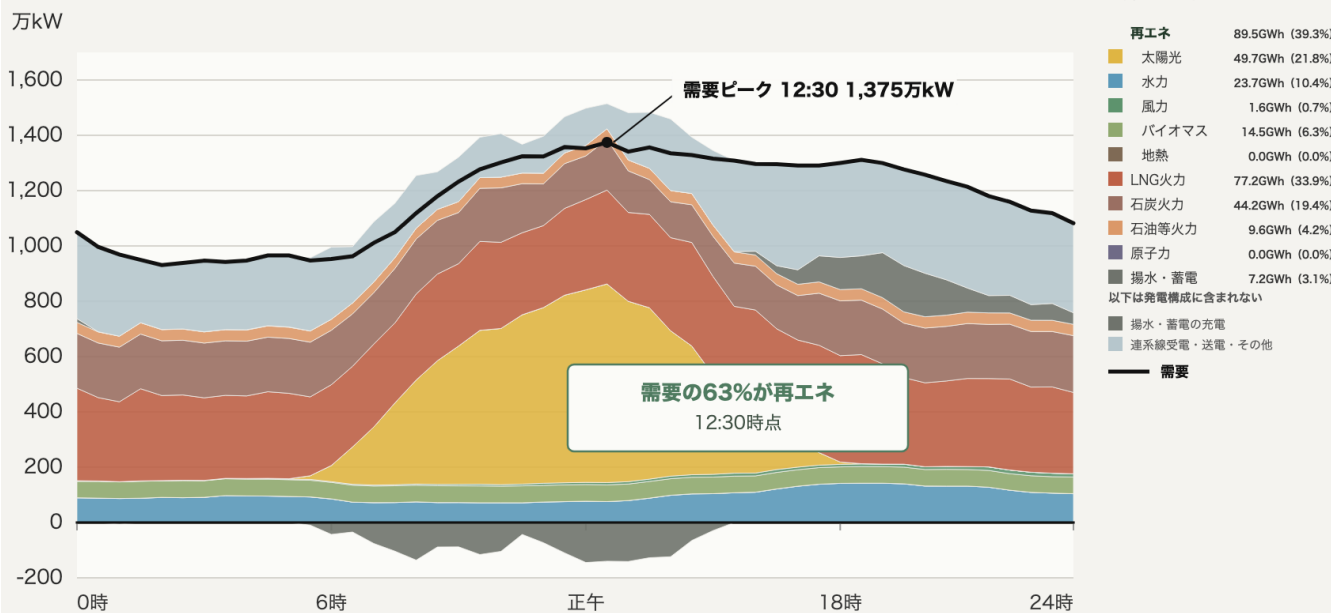
中部エリア

再エネ

89.5GWh

(発電電力量ベース39.3%)

中部エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

227.7GWh

需要ピーク

12:30、1,375万kW

連系線・その他

61.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク718万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.8%だった。



2026年8月15日の供給実績

北陸エリア

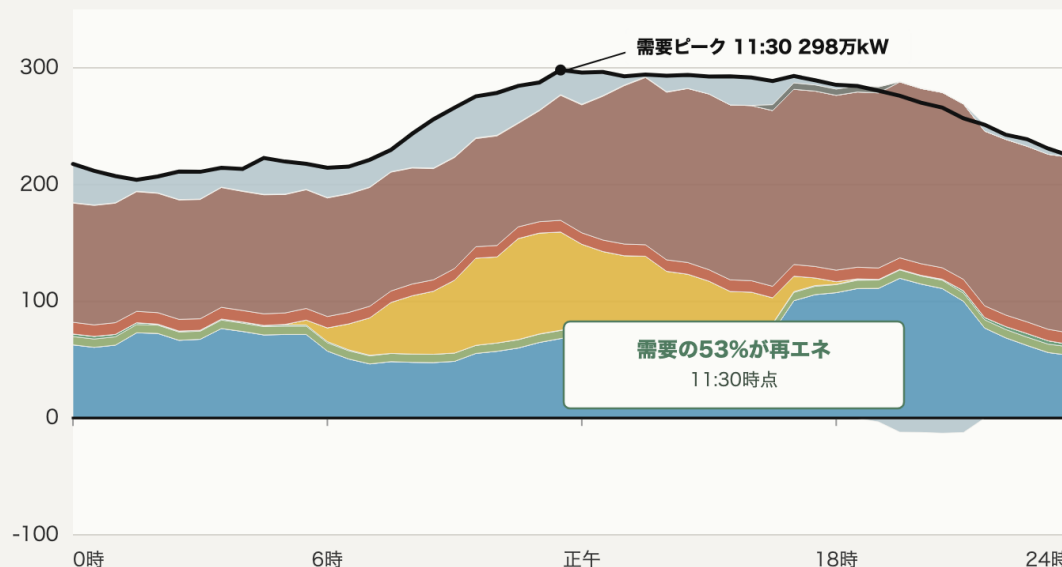
再エネ

25.2GWh

(発電電力量ベース44.0%)

北陸エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 57GWh
(574万kWh)

再エネ	25.3GWh (44.0%)
太陽光	6.2GWh (10.9%)
水力	17.1GWh (29.8%)
風力	0.2GWh (0.4%)
バイオマス	1.7GWh (3.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	2.4GWh (4.1%)
石炭火力	29.5GWh (51.5%)
石油等火力	0.1GWh (0.1%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.2GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

57.4GWh

需要ピーク

11:30、298万kW

連系線・その他

4.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク86万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.1%だった。



2026年8月15日の供給実績

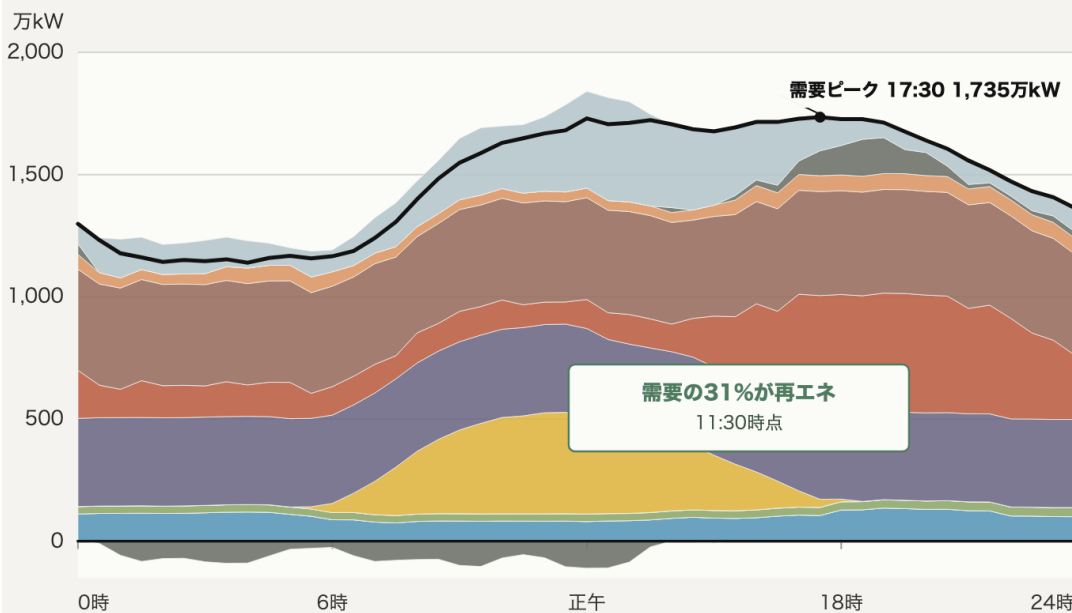
関西エリア

再エネ

62.7GWh

(発電電力量ベース19.5%)

関西エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 321GWh
(3,213万kWh)

再エネ	62.7GWh (19.5%)
太陽光	30.5GWh (9.5%)
水力	24.6GWh (7.6%)
風力	0.1GWh (0.0%)
バイオマス	7.5GWh (2.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	54.3GWh (16.9%)
石炭火力	99.8GWh (31.1%)
石油等火力	12.6GWh (3.9%)
原子力	86.6GWh (26.9%)
揚水・蓄電	5.3GWh (1.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

321.3GWh

需要ピーク

17:30、1,735万kW

連系線・その他

43.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク414万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.5%だった。



2026年8月15日の供給実績

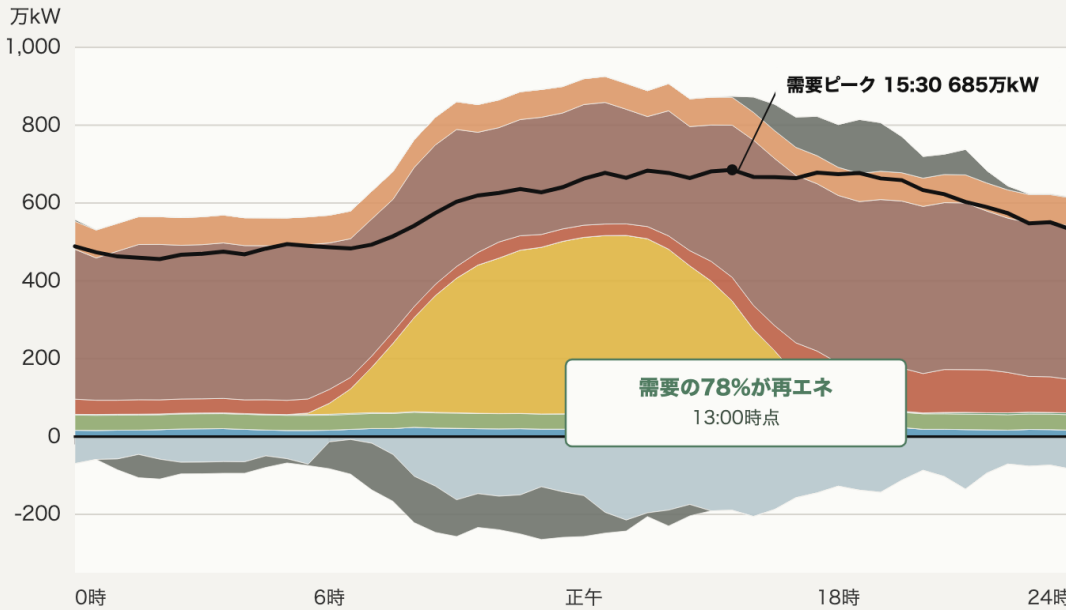
中国エリア

再エネ

50.1GWh

(発電電力量ベース28.6%)

中国エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 176GWh

(1,756万kW)

再エネ	50.1GWh (28.6%)
太陽光	35.8GWh (20.4%)
水力	4.6GWh (2.6%)
風力	0.4GWh (0.2%)
バイオマス	9.4GWh (5.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	13.5GWh (7.7%)
石炭火力	89.9GWh (51.2%)
石油等火力	17.1GWh (9.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	4.9GWh (2.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

175.6GWh

需要ピーク

15:30、685万kW

連系線・その他

26.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク458万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.3%だった。



2026年8月15日の供給実績

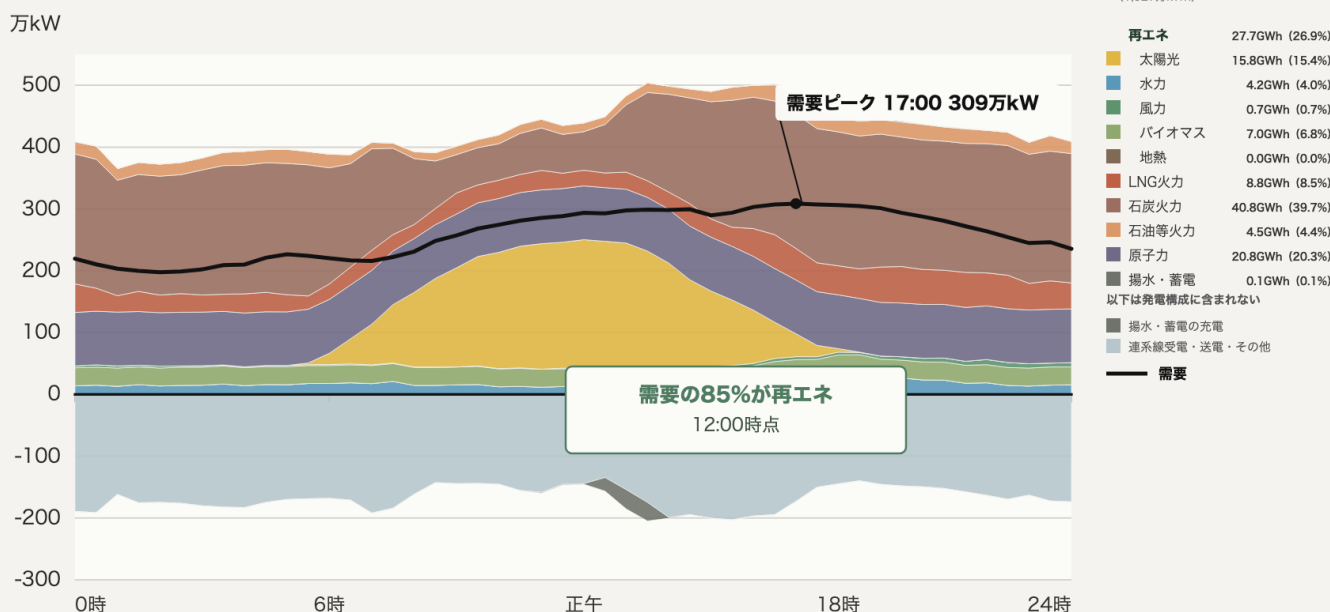
四国エリア

再エネ

27.7GWh

(発電電力量ベース26.9%)

四国エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



総発電電力量

102.7GWh

需要ピーク

17:00、309万kW

連系線・その他

40.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク208万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は85.4%だった。



2026年8月15日の供給実績

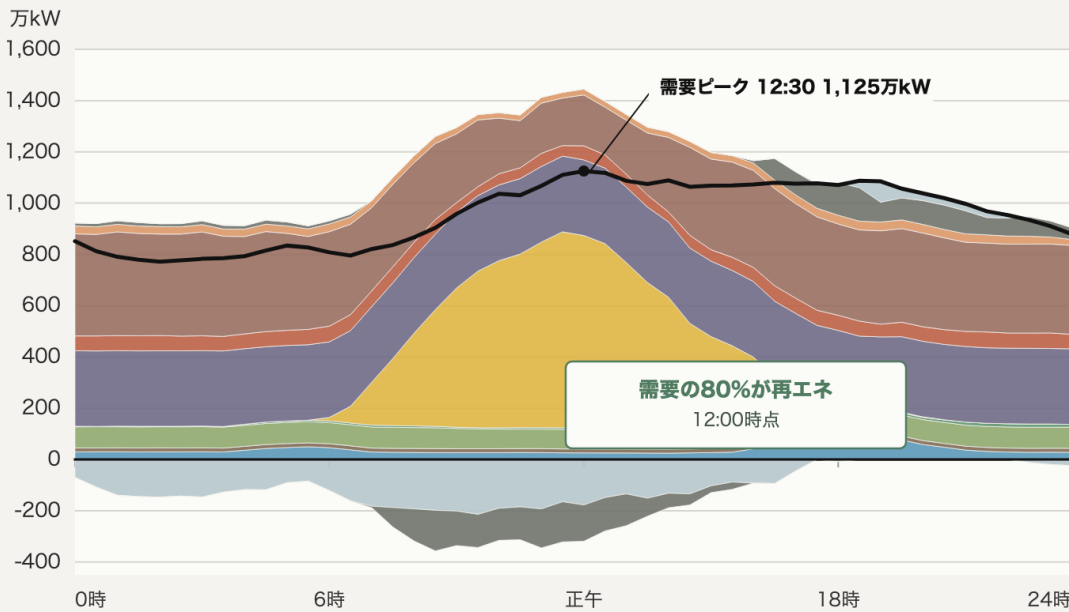
九州エリア

再エネ

84.5GWh

(発電電力量ベース32.2%)

九州エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 262GWh
(2,621万kW)

再エネ	84.5GWh (32.2%)
太陽光	51.0GWh (19.4%)
水力	9.0GWh (3.4%)
風力	1.5GWh (0.6%)
バイオマス	19.4GWh (7.4%)
地熱	3.6GWh (1.4%)
LNG火力	13.2GWh (5.0%)
石炭火力	79.6GWh (30.4%)
石油等火力	6.8GWh (2.6%)
原子力	70.7GWh (27.0%)
揚水・蓄電	7.4GWh (2.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

262.1GWh

需要ピーク

12:30、1,125万kW

連系線・その他

25.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク764万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.0%だった。



2026年8月15日の供給実績

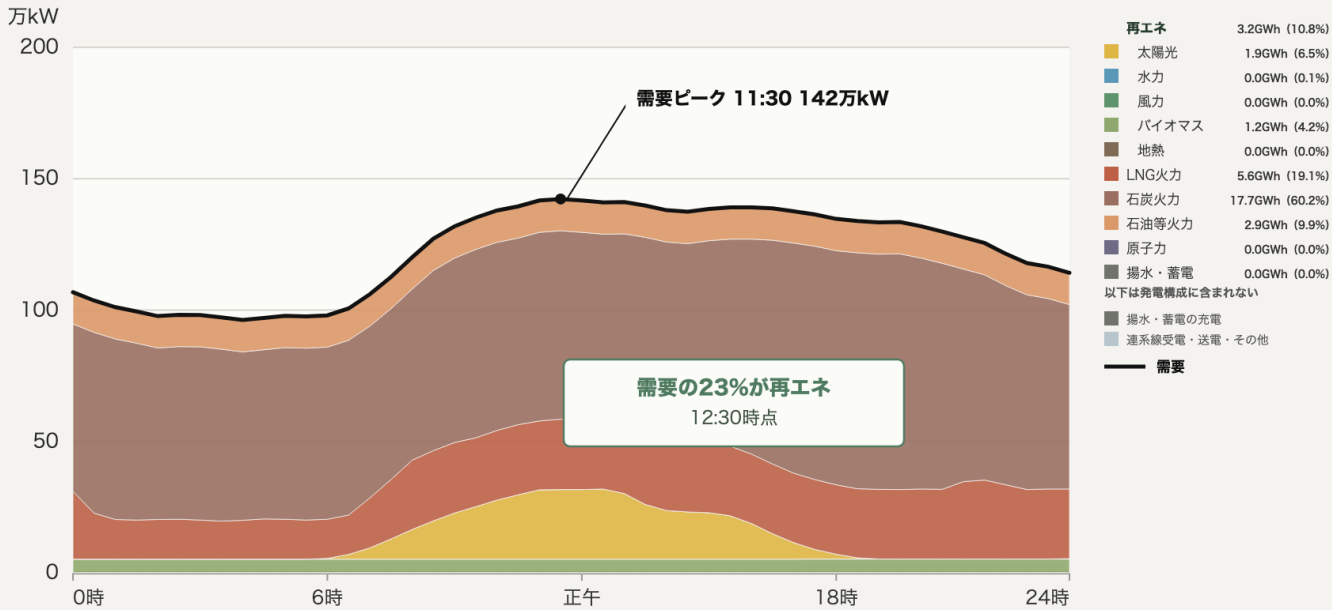
沖縄エリア

再エネ

3.2GWh

(発電電力量ベース10.8%)

沖縄エリア 2026年8月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.4GWh

需要ピーク

11:30、142万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.6%だった。